

【構造設備等基準】

○ 構造設備基準（法 12（13）条，条例 4 条）

項目		基 準
全般	区分	<input type="checkbox"/> 隔壁等で外部と完全に区分されていること。（衛生管理要領）
	採光・照明・換気	<input type="checkbox"/> 充分にすること。（法 12（13）条 3 号） <input type="checkbox"/> （採光・照度）作業面照度は 100 ルクス以上。（施行規則 26 条 1 号） 300 ルクス以上が望ましい。 <input type="checkbox"/> （換気）CO ₂ 濃度 5,000ppm 以下に保つことができるもの。 機械換気設備を設けることが望ましい。（施行規則 27 条 2 号）
	天井	<input type="checkbox"/> じんあいの落ちない構造とすること。（条例 4 条 6 号）
作業場	面積	<input type="checkbox"/> 規定面積（待合所，便所，倉庫等業務に直接関係のない場所を除いた施設の内のり面積）を下回らないこと。（条例 4 条 2 号） 【理容所】 理容用いす 1 台 9 m ² " 1 台超，5 台以下 9 m ² +（超過台数×1.65m ² ） " 5 台超 15.6 m ² +（超過台数×3.3m ² ） 【美容所】 美容用いす，ドライヤー，セット台 4 台以下 9 m ² " 4 台超 9 m ² +（超過台数×1.65m ² ）
	床・腰板	<input type="checkbox"/> 不浸透性材料を使用すること。（施行規則 26 条 1 号） <input type="checkbox"/> 清掃しやすい構造であること。（衛生管理要領）
	洗場	<input type="checkbox"/> 流水装置とすること。（施行規則 26 条 2 号） <input type="checkbox"/> 給湯設備を設けること。（燃焼によるものは，密閉型又は半密閉型が望ましい。）（衛生管理要領）
	消毒設備	<input type="checkbox"/> 規定の消毒方法を講ずることができる設備を設けること。（法 12（13）条 2 号）（消毒室が望ましい。） 設備例：紫外線消毒器，煮沸，蒸気消毒器，薬剤消毒用器具（濃度調整等に必要なもの（容器，計量器）） <input type="checkbox"/> 従業員専用の手洗い設備を設け，手指消毒のための消毒液を常備すること。（衛生管理要領）
	器具等の収納設備	<input type="checkbox"/> 未消毒のもの，既消毒のものをそれぞれ区別して収納できる設備を設けること。（条例 4 条 5 号）
	その他	<input type="checkbox"/> 器具・布片は必要な数を備えること。（条例 4 条 7 号） （消毒を要する器具については，常に消毒済の器具が確保できる数とすること。） <input type="checkbox"/> 汚物箱・毛髪箱はふた付きの物を備えること。（施行規則 26 条 3 号）
	待合所	<input type="checkbox"/> 作業場と明確に区分されていること。（条例 4 条 3 号） （作業場内を往来しないような場所であること。）

その他注意事項

- 1 適当な広さの更衣等を行う休憩室を備えることが望ましい。
- 2 便所には，石鹸等を備えた専用の流水式手洗い設備を有することが望ましい。
- 3 洗場（シャンプー台との兼用は不可。）は，使用した器具を洗浄するための器具洗い場として，器具の形状，数量に応じたものとする。

○ 衛生上必要な措置基準（法 8 条，省令 24 条，条例 3 条）

項目	基 準
清潔の確保	皮膚に接する布片及び器具は，清潔に保つこと。（法 8 条 1 号）
消毒を要する器具等	<p>【消毒を要する器具】</p> <p>1 皮膚に接する布片</p> <p>2 皮膚に接する器具（クリッパー，はさみ，くし，刷毛，ふけとり，かみそり等）</p> <p>※ 皮膚に接する布片は客 1 名ごとにこれを取り替え，皮膚に接する器具は客 1 名ごとにこれを消毒すること。（法 8 条 2 号）</p> <p>【消毒方法（施行規則 25 条）】</p> <p>1 かみそり（頭髪切断専用のもを除く。）及びかみそり以外の器具で血液が付着しているもの（疑いのあるものを含む。）</p> <p>① 煮沸消毒（沸騰後，2 分間以上煮沸）</p> <p>② エタノール消毒（76.9～81.4%水溶液に 10 分間以上浸す。）</p> <p>③ 次亜塩素酸ナトリウム消毒（0.1%以上の水溶液に 10 分間以上浸す。）</p> <p>2 1 記載以外の器具</p> <p>① 紫外線消毒（85μW 以上/cm²，20 分間以上照射する。）</p> <p>② 煮沸消毒（沸騰後，2 分間以上煮沸）</p> <p>③ 蒸気消毒（80℃以上の湿熱に 10 分間以上触れさせる。）</p> <p>④ エタノール消毒（76.9～81.4%水溶液に 10 分間以上浸す又は当該水溶液を含ませたガーゼ等で表面を拭く。）</p> <p>⑤ 次亜塩素酸ナトリウム消毒（0.01%以上の水溶液に 10 分間以上浸す。）</p> <p>⑥ 逆性石鹼消毒（0.1%以上の水溶液に 10 分間以上浸す。）</p> <p>⑦ グルコン酸クロルヘキシジン消毒（0.05%以上の水溶液に 10 分間以上浸す。）</p> <p>⑧ 両性界面活性剤消毒（0.1%以上の水溶液に 10 分間以上浸す。）</p>
作業着	洗浄済の作業衣を着用すること。（条例 3 条 1 号）
手指消毒	手指の爪は常に短くし，客 1 人ごとに手指を消毒すること。（条例 3 条 2 号）
顔そり用（理容）毛そり用（美容）石けん液	客 1 人ごとに新しいものに取り替えること。（条例 3 条 3 号）
その他	衛生上有害となるおそれのない医薬品，化粧品その他これに類するものを使用すること。（条例 3 条 4 号）